



樹

木の保全や診断・治療を行う樹木医の資格を持つ石川さんは、庭木の剪定や山の管理を通して、自然環境を改善する活動を行っています。

「小さい頃から、祖母の実家がある野上へ遊びに行ったり、家族で山登りをしたり、自然に触れる機会が多かったです」と話す石川さんは、大学で森林資源科学科に進み、2年生の春休みにはオーストラリアで植樹ボランティアに参加。そこで感じたのは、日本は海外に比べ、自然に対する意識が低いということでした。卒業研究でのシカの食害調査を通して、佐野市の山間部が抱える人口流出や林業の衰退、放置された森林などの現状も知ったそうです。そういった体験を経て、自然環境の改善や循環が自身の大きなテーマになっていきました。

森林の環境改善に取り組む若き樹木医

キラリ話題の人

はるひさ

石川 晴久 さん

- ・樹木医
- ・森林インストラクター
- ・環境改善活動『KIZASHI』ドリンク事業代表



▲弱った庭木の治療



▲好評のオリジナルドリンク

卒業後は、樹木医の資格を持つ造園家のもとで植木についてのノウハウを学び、目標であった森林に関わる仕事をするために独立。その後、難易度の高い樹木医の試験に挑み、昨年ついに資格を取得しました。

「森林には多面的な機能があります。キノコや山菜の栽培、木材の利用のほか、アクティビティや観光によって人々が親しめる山に変えていきたいです」と石川さん。里山などで放置された果樹からシロップを作り、ドリンクを販売して里山環境改善を広げる活動もしています。

「子どもたちが自然に触れる機会をつくり、興味を持ってもらうことで森林に関わる人を増やし、佐野市の山を守っていききたいです」と熱く語ってくれました。

(市民記者 小林春美)



市長室からこんにちは！

今年の夏は気温の高さとともに、青藍泰斗高校の球児たちが見せてくれた熱い戦いにも、心を大いに揺さぶられました。

今夏の高校野球栃木大会では、決勝で青藍泰斗高校が強豪の作新学院高校を破り、実に35年ぶり2度目となる夏の甲子園出場を果たしました。私も皆さんと一緒に阪神甲子園球場で応援させていただきました。甲子園初勝利を目指した佐賀北高校との初戦では、タイブレークの末、惜しくも敗れてしまいましたが、最後まで全力を尽くす姿に、多くの市民が勇気と感動をいただいたことと思います。選手の皆さん、そして支えてくれた保護者や関係者の皆様に、心より敬意を表します。

さて、9月1日は「防災の日」です。本市では現在、災害時の避難所環境改善の一環として「トイレトレーラー」の導入を進めています。これまで災害発生時には全国的にトイレ

不足や衛生環境が課題となっていました。そのため、災害用トイレの備蓄に加え、快適かつ衛生的なトイレ環境の整備を目指し、導入することとしました。

導入に当たっては、クラウドファンディング等を活用し、皆様からのご支援をお願いしております。ご協力いただいた方では、一定の条件のもと、企業名や個人名を車体後方に掲載させていただきます。寄付募集は、11月1日まで行っており、早ければ令和8年2月中旬にお披露目、3月には「道の駅どまんなかたぬま」に設置し運用を開始する予定です。ぜひ皆様の温かいご協力をお願いいたします。

また、先月20日には「佐野新都市行政サービスセンター」が第2期オープンいたしました。新たにマイナンバーカードの申請・交付・電子証明書の更新などが可能となり、各課の出張窓口「さのまるカウンター」も設置されましたので、ぜひご活用ください。

佐野市長
金子 裕



STEAM体験イベントを開催
英語で科学とアートを楽しむ 3日間



7月22日(火)から24日(木)までの期間で、市国際交流協会と市教育委員会の共催による毎年大人気のイベント「英語で遊ぼう」が城北地区公民館で開かれ、市内の小学生約40人が参加しました。

今回のテーマは「English Lab & Craft Station in Sano!」。

会場には万華鏡や鉱石、水の循環、スライム作りなど、理科やアートにまつわるブースが並び、子どもたちはグループごとに巡って、さまざまな実験や工作に挑戦。好奇心いっぱいの笑顔があふれました。

活動を支えたのは、市内のALT(外国語指導助手)たちで、英語でのやりとりを通じて、自然と英語に触れる貴重な機会となりました。

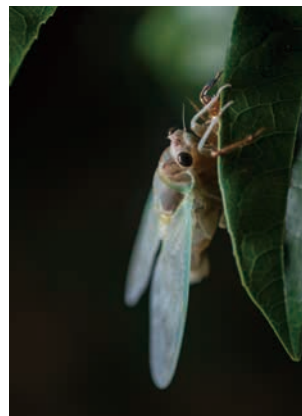
高学年の子が低学年の子をサポートしたり、他校の友だちと仲良くなる姿も見られるなど、学びと交流の両方が詰まった充実の3日間となり、英語と理科、アートを遊びながら学ぶ体験は、子どもたちの未来への好奇心を大きく広げました。
(市民記者 関口麻里)



35年ぶり2度目の優勝
青藍泰斗高校が夏の甲子園出場

7月27日(日)、第107回全国高校野球選手権栃木大会の決勝で、青藍泰斗高校は延長戦の激闘を制し、35年ぶり2度目の優勝を果たしました。

8月9日(土)、阪神甲子園球場で全国選手権大会が開幕し、1回戦で佐賀北高校(佐賀県代表)と対戦。延長10回タイブレークの末、惜しくも甲子園での初勝利には届きませんでしたが、選手の挑戦する姿は多くの人の心に深く刻まれました。



夏の自然教室
セミの羽化観察会

7月25日(金)、城山公園でセミの羽化の観察会が行われました。専門の方から、セミの一生についての説明や羽化の過程、観察する際のポイントなどについて説明を受けた後、夜の公園へ。

親子連れなど31人の参加者は、あちこちで羽化しようとしているセミを発見し、子どもたちは生命の神秘を感じながら、羽化の様子に釘付けでした。